

図書室通信

図書室

社会教育センター図書室

☎28・5449

休館 資料整理のため、9月30日(火)は、図書室をお休みします。

ゆめっ子のおはなし会

ボランティアグループによる楽しいおはなし会を開催します。ぜひ親子そろってご参加ください。

- ▶と き 9月20日(土) 13時30分から
- ▶ところ 社会教育センター幼児遊戯室
- ▶対象 小学校低学年、幼児

絵本の森

ボランティアグループによる大型紙芝居や絵本の読み聞かせを行います。ぜひ親子そろってご参加ください。

- ▶と き 10月4日(土) 10時30分から
- ▶ところ 社会教育センター幼児遊戯室
- ▶対象 小学校低学年、幼児

新刊

児童書

ぼくのいえ

鈴木 のりたけ 作・絵
(PHP研究所)

坂の上から住んでいる町を見下ろすと、同じような家ばかり。「もうちょっと変な家があってもいいんじゃない?」と思った男の子は、砂の家や丸い家、滑り台の家などを想像して…。絵さがしも楽しめるゆかいな絵本。



一般書

天才望遠鏡

額賀 滯 著
(文藝春秋)

史上最年少でプロ入りした中学生棋士、かつての「氷上の妖精」、オーディションを駆け上がる天才中学生…。5人の天才と、彼らを観測し続けた人々の姿を紡ぐ連作短編集。



一般書

リボンちゃん

寺地 はるな 著
(文藝春秋)

幼い頃から可愛いものが大好きで、頭のリボンがトレードマークの百花。伯母の加代子が営むテーラーで、「下着のリメイク」を手伝うことに…。しなやかに生きる力をくれる物語。



一般書

蛍たちの祈り

町田 そのこ 著
(東京創元社)

山間にある小さな町の中学生、幸恵と隆之は、互いの秘密を守り合うことを決めた。15年後、ふたりの予期せぬ再会が、家族や友人、町の人々に影響を与えていき…。



編集後記

9月に入り暦の上では秋となりました。朝晩少しずつ涼しくなっていますが、まだまだ残暑が厳しい毎日です。今年も8月は記録的な猛暑日が続き、愛知県でも連日、熱中症警戒アラートが発令されました。今後暑い日が続くと思いますので、体調管理には気を付けてください。

さて、今月は「認知症月間」です。認知症への理解を深めることを目的に2024年に厚生労働省が定めたもので、敬老の日を含む9月は高齢者の健康と福祉について考える良い機会でもあります。本町でも地域全体で認知症への理解を深める「こよまオレ인지プロジェクト」を推進しており、今月は役場ロビーでのパネル展示や認知症力フェアなどさまざまな事業を行います。

認知症は、家族や周囲の人々にとっても大きな影響を与える病気です。近年、高齢化に伴い認知症と診断されている方は年々増加しています。認知症は誰でもなりうる病気であり、決して他人事ではありません。一人ひとりが認知症について正しく理解して、偏見や誤解をなくし、地域全体で支えることが重要です。まずは困っている人を見かけたらできる範囲で声かけを行うことから始めてみませんか。